



読者の皆様方には、誠に
申し訳ございません。

暫くの間、掲載できない
事態となりました。





読者の皆様方には、誠に
申し訳ございません。

暫くの間、掲載できない
事態となりました。

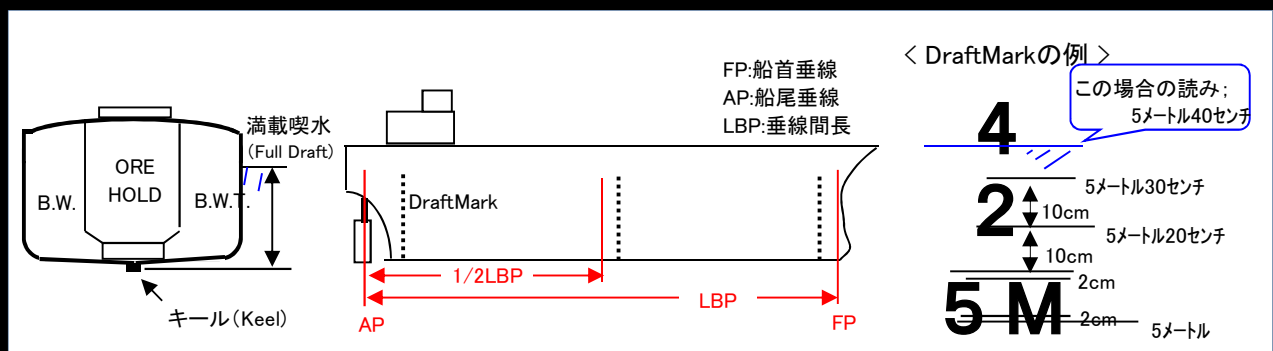


喫水検査は、人が目視で
船の深さを読み取ります。



ドラフトボート
喫水線読み取りに
使用します

大型船は、長さが320mもあります。





読者の皆様方には、誠に
申し訳ございません。

暫くの間、掲載できない
事態となりました。



鉍石の露天掘り (オーストラリア)



鉍石貯場 (オーストラリア)



著者の発明した 船舶の傾斜計 出願番号 2015-4534854

特許・実用新案 登録 商標 審判 特許情報

トップページ 特許・実用新案 特許・実用新案番号照会

特許・実用新案番号照会 [詳細画面へ戻る](#)

文獻番号から特許・実用新案の各種公報を照会できます。

選択された文獻

特許5827775

項目表示 [イメージ表示](#) [PDF表示](#)

[全項目](#) [書誌+要約+請求の範囲](#)
[書誌](#) [要約](#) [請求の範囲](#) [詳細な説明](#) [図面](#)

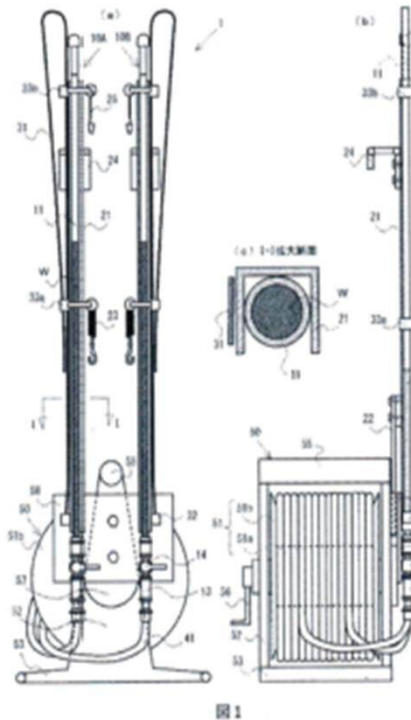
書誌+要約+請求の範囲

- (19)【発行国】 日本国特許庁(JP)
- (12)【公報種別】 特許公報(B1)
- (11)【特許番号】 特許第5827775号(P5827775)
- (24)【登録日】 平成27年10月23日(2015.10.23)
- (45)【発行日】 平成27年12月2日(2015.12.2)
- (54)【発明の名称】 船舶の両舷ドラフト差測定装置
- (51)【国際特許分類】
 - G01C 9/22 (2006.01)
 - B63B 39/12 (2006.01)
- 【F1】
 - G01C 9/22
 - B63B 39/12
- 【請求項の数】 5
- 【全頁数】 15
- (21)【出願番号】 特願2015-534854(P2015-534854)
- (86)(22)【出願日】 平成27年4月17日(2015.4.17)
- (86)【国際出願番号】 PCT/JP2015/061821
- 【審査請求日】 平成27年7月24日(2015.7.24)
- (31)【優先権主張番号】 特願2015-79588(P2015-79588)
- (32)【優先日】 平成27年3月24日(2015.3.24)
- (33)【優先権主張国】 日本国(JP)
- 【早期審査対象出願】
- (73)【特許権者】
 - 【識別番号】 513303669
 - 【氏名又は名称】 澁 幸一郎
- (74)【代理人】
 - 【識別番号】 100095267
 - 【弁理士】
 - 【氏名又は名称】 小島 高城郎
- (74)【代理人】
 - 【識別番号】 100124176
 - 【弁理士】
 - 【氏名又は名称】 河合 典子
- (72)【発明者】
 - 【氏名】 澁 幸一郎
 - 【審査官】 ▲つし▼田 真悟
- (56)【参考文献】
 - 【文献】 特開2011-137776 (JP, A)
 - 【文献】 特開平03-087611 (JP, A)
 - 【文献】 特開平01-284706 (JP, A)
 - 【文献】 実開平04-051618 (JP, U)
- (58)【調査した分野】(Int.Cl.,DB名)
 - G01C 9/22
 - G01C 5/04
 - B63B 39/12

【要約】
 船舶の両舷ドラフト差測定装置において、測定液中の気泡の発生及び測定液の漏れを防止でき、耐久性を向上させ、かつ、軽量化する。
 船舶の両舷のドラフト差を測定するべく、左舷と右舷にそれぞれ取付ける2つの液位測定管(11)と、前記2つの液位測定管(11)を互いに連通させる連通ホース(41)と、前記連通ホース(41)の中央部が固定されかつ左ホース部分(41a)と右ホース部分(41b)を同時に巻き取るドラム(51)と、を備えた測定装置(1)であって、前記連通ホース(41)の中央部をU字状に湾曲させて引っ掛けるために、前記ドラム(51)の軸部材(51a)の外周面から突出するホース掛け突起(51c)と、

特許番号 第5827775号 オーストラリア 特許証交付予定 H28. 04 ドイツ 特許申請中

水の交換不要！。
 片手で持ち運びが出来るようにしました。
現在、国内で使用中です。



大型船の設置、収納は
 わずか、**4分**で出来ます。
現在、喫水検査で使用中です。

家屋や陸における使用は、今後、改良を加えます。

(製作費は9千円)

